

中東派遣艦 1隻に集約

自衛隊 対中念頭 日本周辺厚く

政府は中東海域に派遣する自衛隊の護衛艦を2隻から1隻に減らし、任務を集約する方針だ。

情報収集活動にあたる護衛艦の12月下旬までの期限を延長せず、海賊対処で活動中の別の護衛艦

に兼務させる。中国の軍備強化を念頭に日本周辺の体制を手厚くする。

米国とイランの対立による中東情勢の悪化を受け、2020年から民間船舶の安全確保のため護

衛艦1隻などを送っている。20年末に期限を1年延長し、今年12月26日に期限を迎える。

アフリカ東部ソマリア沖アデン湾で海賊対処活動にあたる護衛艦に新たな任務を付与する。